学校番号	411

令和８年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等	不使用						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽を構成する諸要素を正しく捉え、音楽性豊かな表現するための基礎能力を養う。
・学習の到達度は、授業で配付する振り返りシートや実技テストで評価する。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、
　そうして感性が豊かになる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽Ⅰ及びⅡの学習を基盤として，生徒一人一人の能力・適性，興味・関心等に応じた活動により，個性豊かな音楽の能力を高める。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽の諸活動を通して，生涯にわたって音楽を愛好していこうとする心情を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
我が国や郷土の伝統音楽についての理解を一層深めるとともに我が国や諸外国の様々な音楽文化を尊重する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽を形づくっている要素を知覚・感受し理解することなどを基にして，音楽の構造を把握し，作詞者や作曲者などの創作意図を探って楽曲のよさを理解する。また，それぞれの楽曲の文化的・歴史的背景をふまえて楽曲の解釈を行い，多様な表現形態にふさわしい表現(歌唱・器楽)の仕方を工夫する。	楽譜を見て音程・リズム・テンポ・表情を把握し、しっかりとした発声でより楽しく歌唱する表現の工夫をしている。 楽曲の雰囲気を感受しながら表現意図を持って演奏する工夫をしている。	我が国及び諸外国の音楽の特徴，音楽と他の芸術や文化とのかかわり，生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割について理解を進め，音楽の多様性やそれぞれの価値について考え，これからの音楽の在り方について考察していく。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歌唱	・宇宙戦艦ヤマト(アカペラ4部) ・アニー・ローリー ・民衆の歌 ・時代	a:歌う学習に主体的に取り組んでいる。 b:表現意図を持っている。 c:伝えるための歌唱技能を身に付けている。	演奏の聴取 筆記テスト	演奏の聴取	観察 振り返りシート
	器楽	リコーダー ・亡き王女のためのパヴァーヌ ギター ・オワリはじまり	a:ギター・リコーダー演奏に主体的に取り組んでいる。 c:正しい運指で演奏している。 オブリガートの正確さを感じる。	演奏の聴取		観察 振り返りシート
2	歌唱	・Ave VerumCorpus(混声4部合唱) ・ほたるこい(同声3部合唱)	a:歌う学習に主体的に取り組んでいる。 b:表現意図を持っている。 c:伝えるための歌唱技能を身に付けている。	演奏の聴取 筆記テスト	演奏の聴取	観察 振り返りシート
	器楽	リコーダー ・アイネクライネナハトムジーク ・ギター　禁じられた遊び ミュージックベル ・星に願いを	a:ギター・リコーダー演奏に主体的に取り組んでいる。 c:各担当音符の長短の把握。 各パートとの連携確認。	演奏の聴取		観察 振り返りシート
3	歌唱・器楽	・Progress ・リコーダーとギターのアンサンブル	a:歌詞の意味を捉えて表現する。。 b:表現意図を持っている。 c:多様なリズムを感じ、装飾音符の演奏に取り組む。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察 感想文 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度